

せいろう

Seiro Town

議会だより

Vol.114

3月議会

平成28年
4月22日発行

新潟県聖籠町議会



先生の話しっかり聞かなくっちゃ
(蓮野小学校 入学式)

目指せ健全な財政運営を
～新年度予算を可決～

2～5ページ

お聞きしました！「まちのこと」

6～7ページ

8人が一般質問

14～22ページ

第18回追跡レポート

23ページ

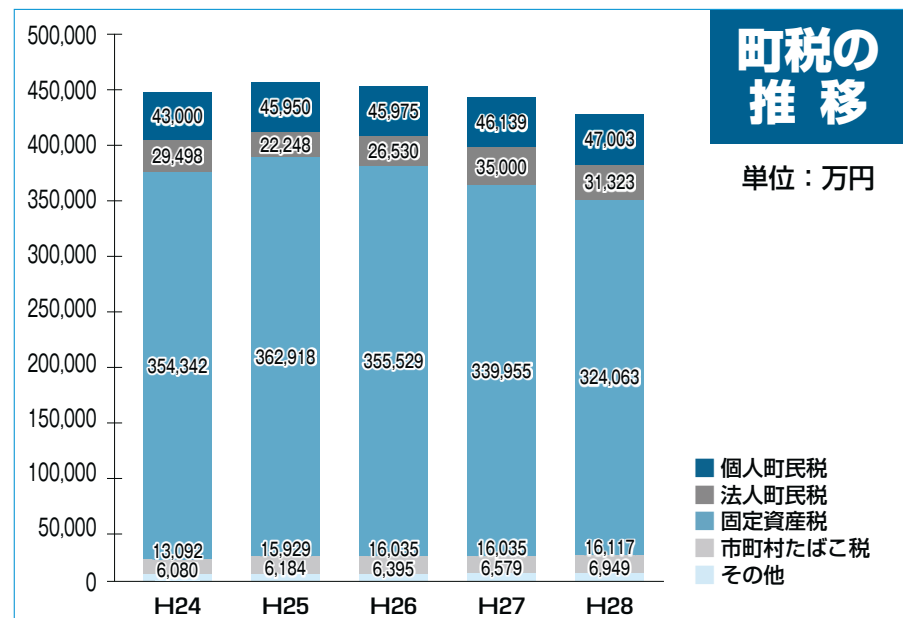
目指せ健全な

財政運営を

予算 審議

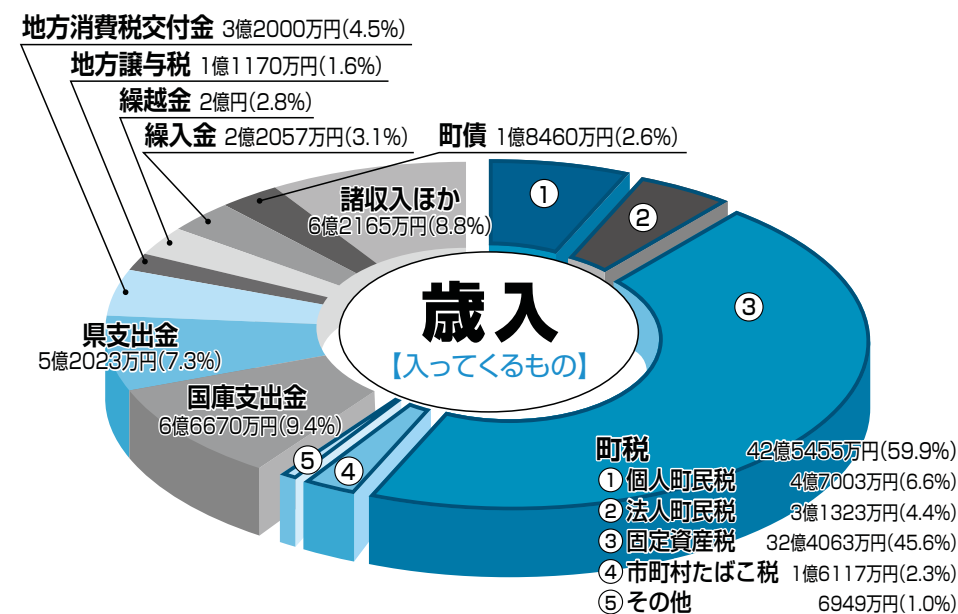
平成28年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ71億円で、前年度対比1.2%増となっております。歳入においては、大きな収入源である固定資産税が逐年通減しています。法人町民税の税率を標準税率の9.7%から制限税率の12.1%に変更し財源確保に努めています。しかしながら、本町において全体の59.9%を占める町税は、42億5455万円で、前年度の44億3708万円に対して、1億8253万円の減、率にして4.1%の減となっております。不足する財源は財政調整基金1億3942万円を取り崩しています。今後固定資産税や町民税の税収拡大につながるよう、東港地区への企業誘致と雇用拡大をし、安定した財源確保に努めることを望みます。

一般会計予算

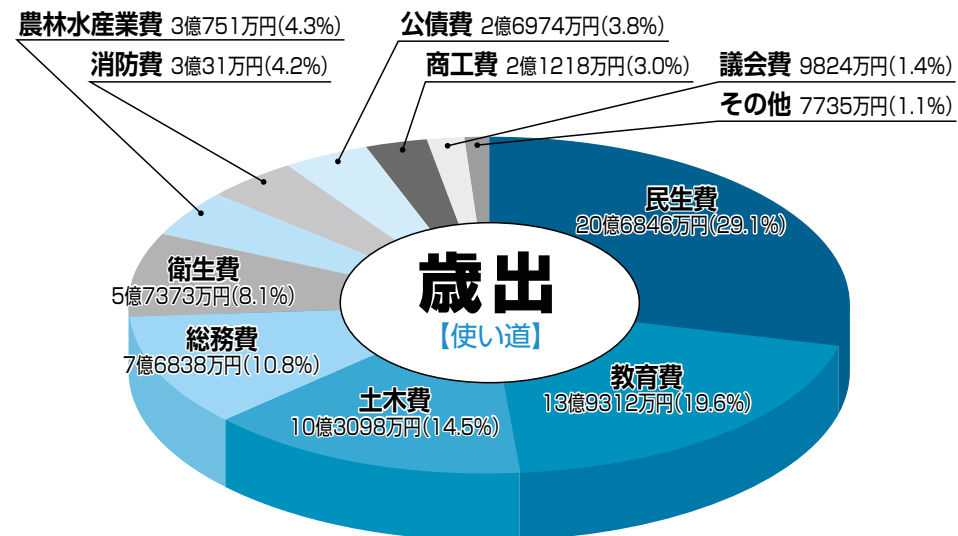


歳出においては、平成28年度が第4次総合計画後期基本計画の初年度となることから、義務的経費・その他経費を、全ての事業で精査し、その上で、町の単独施策に係る事業をはじめ、町民福祉の向上や農業等の産業活性化に重点を置いた施策展開を図っています。その上で、今まで以上に財政健全化を進め、限られた財源を真に必要とされる施策に振り分け、さらに町民全体の恒久的な幸福と、公共福祉の向上に向けた町づくりを進めることを望みます。

一般会計 71 億円 (対前年度比1.2%増)



一般会計の内訳



平成28年度一般会計・特別会計予算

会計名	平成28年度	平成27年度	前年度対比	採決結果	
一般会計	71億0000万円	70億1500万円	1.2%	可決：賛成11・反対2	
特別会計	国民健康保険 事業勘定	15億1430万円	15億3605万円	△1.4%	可決：賛成12・反対1
	国民健康保険 施設勘定	1億1697万円	1億3004万円	△10.1%	
	介護保険	12億4307万円	12億5041万円	△0.6%	可決：全員賛成
	後期高齢者医療	7569万円	7764万円	△2.5%	可決：全員賛成
	県営開拓パイロット事業	991万円	991万円	0.0%	可決：全員賛成
事業会計	下水道事業 収益的支出	7億2799万円	7億4843万円	△2.7%	可決：全員賛成
	下水道事業 資本的支出	3億8218万円	3億9358万円	△2.9%	
	水道事業 収益的支出	2億8703万円	2億6005万円	10.4%	可決：全員賛成
	水道事業 資本的支出	8350万円	1億8813万円	△55.6%	
合計	115億4064万円	116億924万円	▲0.6%		

平成28年3月15日から18日の4日間にわたり、平成28年度一般会計予算、特別会計予算、事業会計予算の7会計を、議長を除く議員13人で慎重に審査を行いました。委員会初日から3日間、会計ごとに担当課長から予算の説明を求め、新年度に行われる新事業の

予算審査特別委員会

予算や従来からの事業について、町民目線の質疑が繰り広げられました。委員会最終日に、町長への総括質疑が行われました。委員会での審査の結果は、7会計全てに意見を付けて原案可決しました。

平成28年度
予算

注目事業 ピックアップ

平成28年度の
注目事業を紹介します

ふるさと納税返礼品事業



250万円

ふるさと納税500万円を目標に、インターネットポータルサイトを利用し、返礼品の町内特産物、サクランボ、ブドウ、米等を送り町をPRします。

小学校冷房設備整備事業



7121万円

学校環境整備のため、町内3小学校36普通教室に冷房設備を、6月中に設置します。

クルーズ船受入事業



150万円

※新潟西港に入港した飛鳥II

5月22日、東港にクルーズ船が入港します。町全体で歓迎準備し、町内観光施設案内や、特産物販売をします。

空き家除却費補助金



150万円

危険な空き家除却の推進のため、「空き家除却費補助金事業」を実施し、解体費の2分の1を補助します(上限30万円)。

亀代児童クラブ建設工事



4900万円

※平成28年4月からスタートの山倉児童クラブ

蓮野児童クラブ、山倉児童クラブにつづき、本年度亀代児童クラブの建築、外構工事を進めます。

貴重な財源を無駄にするな

～予算審査特別委員会の主な質疑～

- 問** CCRCの研究会は、生涯活躍のまち(CCRC)構想研究会は、今後どのように展開するのか。会議は、何回開くのか。また、事業の委託先は決まっているか。
- 答** 年度内に6回を予定し、その中で方向性をまとめ、事業の委託先は、決めていない。
- 問** ふるさと納税に対する返礼品発送委託料250万円の内訳はどうなっているのか。
- 答** 1万円以上の寄附金で、町内の特産物であるサクランボ、ブドウ、米など返礼品2500円相当、500セットを予定している。その他の金額は、発送人件費等である。
- 問** 空き家補助金何軒分か
- 答** 空き家除却費補助金150万円の内容は、
- 問** クルーズ船受け入れ態勢はどのようになるか。
- 答** オプションナルツアー参加者以外の乗客等を対象に、仮設テントを設置し、歓迎セレモニーを予定。また、町の物産を紹介・販売する他、バスで観光施設、二宮邸や、ざぶくん館等へ案内する。可能であれば、町民向けにクルーズ船の見学会も計画したい。
- 問** 解体工事費の2分の1を補助する(上限30万円)。5軒分を予定している。
- 問** 地場物産館の今後は
- 答** 地場物産館のテナントが減っているが、健全経営はできているのか。
- 答** 当初の採算目標には届いていないが、今後は改善に努める。
- 問** クルーズ船受け入れ態勢は
- 答** 消火栓の予備として考えている。
- 問** 現在の防火井戸は、通常では火災時の放水には使えない。今後はどうするか。
- 答** 新たに設けられる奨励金の基準はどうなっているのか。
- 問** スポーツ・文化振興奨励金の基準は
- 答** 従来からある「文化芸術及びスポーツ大会等出場者激励金」の基準とは別に新たに基準を策定すること。対象者が多様になることを考え、有識者会議を開き基準を策定する。
- 問** 物件補償費の内訳は
- 答** 道路工事に関わる物件及び電柱移動等補償費が1億2880万円と高額であるが、その内訳は。
- 答** 大半が、蓮瀉の道路工事に伴う住宅2軒分の移転補償費である。
- 問** 防火井戸の活用は
- 答** さぶくん館と類似した施設が近隣自治体にもある。近隣の施設と比較して、利用者からさぶくん館の衛生管理が悪いという声が聞かれる。実態を把握しているか。
- 答** 運営と管理をしている会社に、衛生管理の向上を促す。
- 問** 観光施設等の衛生管理を
- 答** 5年ごとの更新の時期に当たるため。今後は見直しも検討する。
- 問** 育英生貸付金減の理由は
- 答** 育英生貸付金が減っているのはなぜか。
- 答** 卒業などで、育英資金の貸付期間を終了した人数が増えたため。
- 問** 図書館資料費にふるさと納税活用を
- 答** 今後、状況によっては補正予算等で検討したい。
- 問** 教育現場の人員配置減の影響は
- 答** 義務教育現場のハード面では、冷房設備の整備など充実することになるが、人員の配置は逆に減る。教育力の低下につながる。今後は、現場の努力によって円滑な運営を確保する。
- 問** 情報機器借上料増の理由は
- 答** 小・中学校の情報機器借上料が大幅増になっ

道路や歩道の整備を



3年 平野 颯也さん

質問1 犯罪などがあまりなく、親からの目線でも、毎日通学しているのが無料だし、住みやすい町だと思えます。

質問2 僕が自慢するのは、サクランボやブドウの果物です。とてもおいしいし、たくさん採れるから、果物は聖籠町の自慢だと思えます。

質問3 期待はいっぱいあります。でも、期待の中には改善してほしいこともあります。

一つ目は、町内の道路や歩道の整備です。少し前に町の図書館ができました。聖籠町の人たちが本に親しめたり、本を好きになってもらったりと、

いろいろな理由があって造ったのだと思えます。でも、毎日通学している僕たちからすると、道をきれいにすることや歩道の設置といった、安全の方も大切にしてほしいと思います。

二つ目は、海岸が汚いということだと思います。僕は慣れてしまっていて、あれが普通になってしまっています。ですが、決してきれいとは言えないと思います。町民全員で清掃したいのを、自分たちの手で、きれいにしていきたいです。

質問4 議会だよりはないます。町の広報は見たことがあります。

質問項目

- 質問1** 聖籠町を住みやすい町だと思いますか？
- 質問2** 聖籠町外から友達が訪ねて来たとき、聖籠町のどんなところ(どんなもの)を自慢(紹介)しますか？
- 質問3** 10年後の聖籠町への期待は？
- 質問4** 「議会だより」を読んだ(見た)ことはありますか？

増えてほしい医療機関



3年 高橋 菜月さん

質問1 とても住みやすい町だと思います。

いろいろな施設があるので、とても充実した生活を送ることができます。

例えば、各多目的屋内運動場ではスポーツが楽しめますし、結ハート聖籠では、昔の町並みや生活が学べる展示場などがあり、とても楽しい町だと思えます。

質問2 私は町民会館を紹介します。トレーニングジムや、文化会館などの施設を町民に提供する他、スポーツ祭や聖籠夏まつりなど、さまざまなイベントも企画しているので、町民とのつながりがある場所だからです。

また、町民会館で働く人たちと町民が関わることで、いろいろなコミュニケーションができる場所だからです。

質問3 大きな病院ができてきているので、10年後はもっと多くの医療機関が増えることに期待したいです。

質問4 「聖籠町議会だより」を一度、読んでください。聖籠町がより良くなるための議会だよりなので、機会があったらまたじっくり読んでみたいと思います。

お聞きしました! 「まちのこと」

昨年12月、聖籠中学校では、平成28年度に向けて、生徒会役員選挙が行われました。選挙前、各候補者は、生徒玄関に立ち、立候補した役職と名前を呼びかけ、立会演説会でキャッチフレーズやマニフェストについて説明を

しました。選挙権の年齢が18歳以上に引き下げられることが決まりました。若い世代に政治や町づくりに関心を持ってもらうため、聖籠中学校の生徒会役員に「まちのこと」をお聞きしました。

電車が走っていたら便利



3年 石井 愛梨さん

質問1 私は聖籠町は住みやすい町だと思います。なぜなら、他の町のこととは分からないけど、今までは聖籠町に住んでいて、とても充実した生活を送ることができたからです。

質問2 私は聖籠町外から友達が訪ねてきたら、とても利用しやすい図書館のことや、中学校がきれいだということなど、公共施設が充実していることを自慢します。

質問3 私が10年後の聖籠町に期待したいことは、今よりも、もっと子どもたちが住みやすく、元気に生活ができる町です。

もしも、私たち中学生が10年後に聖籠町に住んでいて、子どもがいたときに、今よりも充実した生活を送ってほしいと思います。例えば、聖籠町に電車が走ったらたくさんの方が利用でき、とても便利になると思います。

質問4 私は議会だよりを家の人が読んでいるのを見たことはありますが、実際に読んだことはありません。ですが議会だよりを読んだ方が聖籠町のことを詳しく知ることができると思います。聖籠町の一人の町民として、これからは積極的に読んでいきたいと思います。

視点を変えて町をアピール



3年 真嶋 はるかさん

質問1 海もあり、緑が豊かな自然あふれる住みやすい町だと思います。

質問2 聖籠町はサクランボやブドウ、梨などの果物が何より新鮮です。生産者の方々の愛情や想いがあふれる果物たちは、聖籠町の自慢できるものの一つです。

また、観光面では温泉施設「さぶくん館」があり、小さい子からお年寄りまでくつろぐことができます。

質問3 私は今の聖籠町が好きです。10年後にはいま以上に多くの人たちが訪ねてもらい、聖籠町の良さを知ってもらいたいです。そのためは、

交通網の充実やアピールできる手段を考えてほしいです。

例えば、昨年、ある地方の「フランス語に聞こえる方言」の動画が話題になりました。これは、考え方が斬新で面白かったからではないでしょうか。聖籠町をアピールするために、そのような「視点を変える」ということも大切だと思います。

質問4 小さいときにおばあちゃんが見せてくれた、一緒に見たことがありません。

行政不服審査会条例の制定、職員の降給に関する条例の制定、平成28年度7会計予算など24議案を全て可決。

平成28年3月8日～22日(会期15日間)

3月定例会

例定 条例 委員の任期延長をどう考える

行政不服審査会 条例

国の行政不服審査法の全部改正により、審査請求に対する裁決の客観性・公平性を高めるため、第三者の立場で審査手続の適正性や裁決に係る法令解釈等を審査する審査会を新しく設置します。

主な質疑

任期の延長はどの程度

〔中村恵美子議員〕 審査会の委員の任期は3年としているが、どの程度まで任期の延長を考えているか。

基本的に3期

〔町長〕 この審査会の委員については、専門的な知識が必要である。任期は

3年であるが、基本的に3期程度と考えている。

討論 なし
採決 全員賛成

条例制定 担保されるか生活給の補償

職員の降給に関する条例

地方公務員法の一部改正により、能力評価や業績評価、病気などを基に町の職員を降給(降格)にすることができるようになる。職員の降給に関する条例を制定し、降給された職員に生活給の補償を担保する。

主な質疑

生活給の補償は

〔五十嵐利栄議員〕 人事評価による降格制度であるが、最大の降格をどう考えている。降格対象者には、生活給の補償を考慮すべきである。降格とは逆に、国、県等への派遣人事では、派遣終了後、特別昇給があったが、それはどうなるのか。

極端な人事評価はない

〔町長〕 人事評価だけでは降格は決められないが、病気等の長期にわたり休む場合、勤勉手当などで考えられる。従来からの内部での人事管理を守る。派遣人事後の特別昇給は見直しの段階である。

討論 なし
採決 全員賛成

例改 職員給料と特別職報酬引き上げ

職員の給与に関する条例の一部改正

職と議員の報酬を引き上げました。

主な質疑

報酬審議会での議論の中身は

〔中村恵美子議員〕 特別職の報酬は、昨年の3月議会で一俵3千円上げた



▲適正な人事評価を

討論

反対 中村恵美子議員

特別職と議員の報酬引き上げについては、昨年引き上げを行ったばかりである。町民の経済状況が厳しい状況を見ると反対。

反対 小川勝也議員

議員報酬の引き上げは、町民からの理解が得られない。

賛成 青木順議員

報酬引き上げを真摯に受け止める。今後、議員が町民からどう思われているかしっかりと自覚をして、頑張らなくてはならない。

賛成 五十嵐利栄議員

当町において、引き上げは必要である。他の自治体では、若い世代の議員を増やすため、年齢で報酬額に差をつけているところもある。

採決 賛成10反対2で可決
※1人退席

職員の上げ幅は

〔五十嵐利栄議員〕 職員の仕事の平均改定率、平均金額はいくら上がるのか。

若年層に重点を置く改定

〔総務課長〕 給料表について、若年層に重点を置いて改正を行う。なお、行政職の平均改定率は0・4%の引き上げ、平均金額は、1800円である。



▲町民から評価される議員活動に

施政方針表明



わたなべ 渡邊町長

●平成28年度予算を編成

●総合戦略に着実に取り組む

●国保は将来県に移行

▼歳入では、町税収入が一段と厳しい中、各種交付金の増収に期待した編成となります。

▼歳出は、要望の大きい道路改良工事や消雪パイプ整備事業、小学校の冷房設備整備事業が主なものです。また、年々義務的経費の伸びが財政を圧迫している現状です。

▼国保は、不交付団体ながら、町単独の事業の見

直し等を含めた行財政改革の必要性を痛感し、その対策の推進を図ります。

▼総合戦略の計画期間は平成31年度までですが、人口減少対策に、着実に取り組めます。

▼生涯活躍のまち(CCR)構想の取り組みは、地方創生加速化交付金の対象事業となり得るので、今後、補正予算を編成し

ます。

▼ふるさと納税は、寄附者の利便性を向上させつつ、PRに努めます。返礼品の発送も開始します。

▼空き家対策としては、除却費を補助し、空き家バンクも設けて、地域住民の不安解消に努めます。

▼防犯灯は、今後、交換するものはLEDとなるため、補助を行います。

▼福祉関係では、介護予防・日常生活支援総合事業を平成29年度から実施できるように、体制整備を行います。

▼農業施策では、米の需給調整については、国の方針によって、農業経営に不安を抱えている方も多くと憂慮しています。しかし、なお一層の理解・協力をお願いします。

▼国保特別会計では、財政の運営主体が平成30年度に県に移行します。小規模町村の国保運営が、円滑に行える仕組みが構築されるよう期待します。

農業委員10人決まる

主な質疑

中立でいられるか

〔五十嵐利栄議員〕 町の仕事を請け負っている会社の経営者の名が出てきているが、法的に問題がなくても、町民感情として

多様な意見を期待

〔町長〕 仕事は商工業者であり、農業ではないので、法的に問題ない。農業委員として、多様な形での意見が出ると期待する。

て疑義がある。中立でいられるか。



曾根 善治さん (蓮湯) 全員賛成



新保 昇英さん (山三賀) 全員賛成



駒澤 一男さん (本大夫) 全員賛成



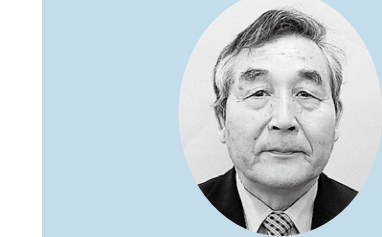
吉田 春雄さん (真野) 全員賛成



藤井 敦子さん (本三賀) 全員賛成



加藤 百合子さん (蓮野) 賛成8 反対5



平野 政要さん (次第浜)

人権擁護委員の平野政要さんが平成28年6月30日で任期満了になることから、引き続き推薦され、全員賛成で適任と認めました。

人権擁護委員に平野政要さん(再任)

自治功労者に対し全国町村議会議長会より表彰



須貝 龍夫議長

議長として、多年にわたり議会運営および地域の振興・発展に寄与されたい功績に対し、このたび議長より表彰されました。

読者の声

私にできること



渡邊 行子さん (次第浜)

私は子どもの頃から本が大好きで、特にフアンタジーや冒険小説は、ワクワクしながら読み、未知の世界に憧れていました。孤島のモアイ、ギアナ高地、ナスカの地上絵など、いつかこの眼で見てみたいと思っていました。そして、あるきっかけで、イタリヤを訪れることができました。

間見ることができました。東日本大震災で、世界のの人々から、日本人の礼儀正しさや、人を思いやる姿が称賛を浴びましたが、それ以前から日本人に対する海外の人々のまなざしには、優しいものがありました。ジャパニーズと言くと、急にニコニコ親切にしてくれました。「円」も大概の所で使うことができました。

先輩が築いてきた日本人の精神が諸外国でも生きていました。とてもうれしく、誇らしくも思ったものです。この素晴らしい国で、町で生まれ育っていく子どもたちにも、ぜひ

受け継いで、グローバルな精神を持った大人になってほしいものです。今回のベルギーでのテロなど、毎日痛ましい事件が報道されています。根底には、貧困や教育環境があると思います。人間性を豊かに育てる教育、善悪の判断ができる教育が必要不可欠になるのではないのでしょうか。そして、その教育は学校や家庭だけでは無理なことで、社会全体で成し遂げる必要があると思います。

私も微力ながら、自分ができるお手伝いを、と頑張るつもりです。

受継いで、グローバルな精神を持った大人になってほしいものです。

今回のベルギーでのテロなど、毎日痛ましい事件が報道されています。根底には、貧困や教育環境があると思います。人間性を豊かに育てる教育、善悪の判断ができる教育が必要不可欠になるのではないのでしょうか。そして、その教育は学校や家庭だけでは無理なことで、社会全体で成し遂げる必要があると思います。

私も微力ながら、自分ができるお手伝いを、と頑張るつもりです。

二度、三度と渡航するうちに、日本や日本人はどのような受け止められているのか、垣

素晴らしく、展示もゆったりしていて、手に取るように鑑賞できました。

美術の時間に習った絵画、彫刻がそこにはありました。とにかく、

素晴らしく、展示もゆったりしていて、手に取るように鑑賞できました。

二度、三度と渡航するうちに、日本や日本人はどのような受け止められているのか、垣

素晴らしく、展示もゆったりしていて、手に取るように鑑賞できました。

二度、三度と渡航するうちに、日本や日本人はどのような受け止められているのか、垣

素晴らしく、展示もゆったりしていて、手に取るように鑑賞できました。

二度、三度と渡航するうちに、日本や日本人はどのような受け止められているのか、垣

素晴らしく、展示もゆったりしていて、手に取るように鑑賞できました。

二度、三度と渡航するうちに、日本や日本人はどのような受け止められているのか、垣

素晴らしく、展示もゆったりしていて、手に取るように鑑賞できました。

二度、三度と渡航するうちに、日本や日本人はどのような受け止められているのか、垣

素晴らしく、展示もゆったりしていて、手に取るように鑑賞できました。

みなさんの 請願・陳情

第1回定例会では、地域住民より直接の声となります。請願1件を審査し、賛成7反対6で採択しました。

採択した請願

◎安保法制の廃止を求める意見書の提出に関する請願

〔提出者〕 新発田民主商工会 聖籠支部長 中村 登
〔紹介議員〕 五十嵐 利栄・中村 恵美子

反対討論 田村 富美男議員

かつて70年間も違法だ、合憲だといろんな意見がある。基本的に憲法9条があるから、武力で物事をやるとは思っていない。有事の際、国を救うという物事を誰がやるのか、そういうことを加味して反対である。

賛成討論 五十嵐 利栄議員

多くの憲法学者がこの法案は憲法違反と言っている。いかなる権力者であろうとも、憲法を越える法案はその権限を逸脱したものである。7割以上の国民は内容がよく分からない、あるいは反対としている。今回の安保法制は法を無視したものである。

賛成討論 宮沢 光子議員

国会前で個人や団体が、法案に「反対」と声を上げていた映像は皆さんの脳裏にしっかりと焼き付いていると思う。法案の成立は、個人の声を無視した数の論理である。個人一人一人の声・気持ちを、地方議会として採択することは、聖籠町議会の良識だと思う。

賛成討論 中村 恵美子議員

毎週金曜日には、国会前で安保法反対の集会が開かれている。国民の大多数が反対している。私たち議員は請願を採択し、国に声を上げることができる。一町民の代表として、採択してもらうことを願う。

意見書を国に提出

第1回議会定例会で2件の意見書が提出され、安保法制については賛成多数、ヘイトスピーチ対策については全員賛成で可決しました。可決した意見書は、国の関係機関に提出し実現するよう要請します。

◎安保法制の廃止を求める意見書
◎ヘイトスピーチ対策に係る法整備を求める意見書

具体的な中身示せ CCRC事業

一般会計補正予算

主な歳入

- 地方創生加速化交付金 1370万円
- 農地集積協力金 2043万円

主な歳出

- 生涯活躍のまち(CCRC)構想に関する調査業務委託料 1080万円
- 国保事業勘定その他繰出金 3000万円
- 農地集積協力金 2043万円

主な質疑

平成27年度一般会計予算は、既定予算から歳入歳出それぞれ3242万円を減額し、総額71億462万円と定める補正予算を全員賛成で可決しました。

主な質疑は、生涯活躍のまち(CCRC)構想、太陽光発電システム、消費者行政活性化補助金、杉の子の家パン工場の修繕料などについて行われました。

CCRCどこに委託か

中村恵美子議員 生涯活躍のまち(CCRC)構想に関する調査業務委託料1080万円は、どこに委託するのか。内容はどのようなものか。

委託先は未定

総務課長 委託先は、未定である。CCRCの知識を持つコンサルタントになると思う。

委託内容は基礎資料の整理、首都圏の中・高齢者のニーズ調査、生涯活躍のまち構想に取り組んだ場合の地域経済等への影響、町の介護、医療保

CCRC事業は何年か

五十嵐利栄議員 農政分野の多面的機能支払事業等は、3年や5年の事業期間があるが、この事業はどうか。総務課

平成27年から5年間

町長 CCRCは国の地方創生事業の一環として、平成27年から5年間を集中事業期間としている。

に事務局を置くと言うが、新たに事務職として採用するのか。



▲生涯現役で

情報機器管理嘱託員の今後は

中村恵美子議員 中学校の情報機器管理嘱託員は現在、病気で休んでいるが、今後はどうなるのか。

3月1日より新しい人を雇用

子ども教育課長 今までの人は9月30日で退職している。3月1日より、新しい人を雇用している。

山倉児童クラブ水道加入負担金は

小川勝也議員 山倉児童クラブ水道加入負担金不要の件は、設備設計時に分からなかったのか。

山小と近くなので加入負担金なし

子ども教育課長 山倉小学校が近くであることは分かっていたが、別に加える予定であった。しかし、経費節減のため小学校から引き込み、負担金なしとなった。



▲おいしいパンをお願いね

パン工場の修繕料は

宮沢光子議員 杉の子の家パン工場の修繕料だが、建築当初から防虫対策を想定したものではなかったのか。社会福祉協議会とはどのような話をしたのか。

サッシを全て覆う網戸

保健福祉課長 杉の子の家パン工場は、平成24年9月の保健所の検査では、虫の混入はなかった。昨年4月の検査で虫が発見された。サッシに1ミリから2ミリ隙間があり、サッシを全て覆う網戸を予定している。外部からの混入や中でこの繁殖が懸念されるため、これらの対策を社会福祉協議会と協議した。

1件の貸与がある

町民課長 通話録音装置は交付額が決定し、9千円の減額となった。

育休は11人

総務課長 育休は11人である。保健福祉課3人、子ども教育課1人、子ども園他7人である。

保健福祉課長 保健師の育休は2人で、1人は嘱託員で確保している。4

何人が育休なのか

生活環境課長 3月1日から18日まで広報等で周知し、1件の貸与がある。

最終の繰り越し見込みは

RCの考えがまとまるまで、事務局を置く。その後は、民間に委託する。新たに事務職は採用しない。

平成28年度の繰り越しは2億円

町長 予算措置以外の収入と不用額を合わせ、繰越金2億円はカバーできると思う。

録音機の申し込みにあるか

宮沢光子議員 消費者行政活性化補助金は、12月議会で補正予算に出してきた。振込め詐欺などの対応として、録音機を高齢者に貸与することになった。



▲詐欺から身を守ろう



宮沢 光子議員

幼・小の引き継ぎは万全か

教育長 詳細な情報共有で十分配慮

問 全国の小学校で、感情をコントロールできず、暴言・暴力を振るうケースが低年齢化して、問題行動が増えている。ここ数年、町の小学校の現場でも諸問題が発生しているが、教育委員会は問題の解決をどう考えているか。

町の特色として、3歳から6歳までの子どもが入学する。近年、小学校の現場で発生した諸問題の要因に、幼・小の引き継ぎで問題があったのではないかと。

教育長 問題行動に対し、早期発見と初期対応を行い、児童に寄り添いながら保護者と連携して、問

題解決に当たるよう各学校に指導している。今後、学校からの報告等で現状を把握して、多様な関係機関と連携することで校内の指導体制、支援体制を強化したい。

幼・小の引き継ぎについては、教職員間の研修や情報交換会、体験授業等を実施して、詳細な情報が得られるよう工夫している。



▲ようこそ小学校へ

把握しているか虐待の実態

教育長 約12件把握している

問 子どもへの虐待、夫婦間のDV、育児放棄等、子どもが犠牲になる事件が全国各地で起こっている。子どもを育てる親の

経済的背景や社会的孤立が考えられるが、当町の実態、状況を子ども家庭相談センターは、どう把握しているか。

教育長 子どもへの虐待については、虐待の中心が4種類に類別されているが、約12件あると把握

新たな読書推進の取り組みは

教育長 1日15分読書運動を提唱

問 聖籠町子ども読書活動推進計画が策定された。この計画によって、新図書館が目指す方向性の一つが示された。しかし、計画が絵に描いた餅にならないか。

教育長 保護者や家族が読書に親しむことが子どもたちの関心を引き出すと考えられる。計画では、新たな視点として、家で読書をする「家読」、1日15分読書運動を提唱して、大人も子どもと一緒に本を読んでもらう取り組みを進める。

学校図書館との連携を密にするため、定期的に担当者会議を開催する。



一般質問 町政を問う

- 3月議会では、8議員から町政を問う一般質問がありました。
- 一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長等に疑問点をたずねるものです。
- 次ページからは、それぞれの一般質問について要約を掲載しています。
- 全文は会議録として、5月末に町ホームページに掲載される予定です。

8議員が質問

宮沢 光子 議員

- 1 幼・小の引き継ぎは万全か
- 2 把握しているか虐待の実態
- 3 新たな読書推進の取り組みは

P15

五十嵐 利栄 議員

- 1 意識改革は進んだか
- 2 住宅政策はどうする
- 3 目標達成大丈夫か

P16

小川 勝也 議員

- 1 安心か老人福祉行政
- 2 循環バス運行は改善したか
- 3 公共施設の管理状況は適正か

P17

田中 智之 議員

- 1 中・高校生への主権者教育はどうなった
- 2 国際交流事業
- 3 クルーズ船の経済効果は

P18

渡辺 豊 議員

- 1 防災に関心が薄いのはなぜか
- 2 子どもたちの夏休み体験を海でも
- 3 東山町宮住宅の改修は

P19

中村 恵美子 議員

- 1 第6期計画実施に影響はないか
- 2 医療費無料化の実現を

P20

小川 益一郎 議員

- 1 クルーズ船入港万全か
- 2 集落案内標識の整備を

P21

青木 順 議員

- 1 リサイクルの促進を
- 2 サイバー攻撃どう立ち向かう

P22



五十嵐 利栄議員

意識改革は進んだか

町長 継続して取り組む

問 平成26年6月議会で、職員意識改革を進めるため新たな研修制度を導入するとの答弁があった。新制度の導入はどうか。また、人事評価制度も、できれば平成27年4月から踏み切りたいという見解が示された。すでに全国市区町村の52%が取り入れているが、いつから実施予定か。

町長 町民に対する職員の対応が型にはまっているという声や、結論の出るまで時間がかかるなどの声がある。いずれも隣接市町との比較がある。県内他市町などで職員が不祥事で処分を受ける例が多発しているが、町職員の倫理は徹底しているか。

町長 各階層の研修や専門研修に取り組んできた。意識改革は継続性が必要なので、これからも取り組んでいく。人事評価制度は改正公務員法が施行される平成28年4月から実施する。町民に対して適切な対応をするよう指導しているが、再度徹底する。相談事については、内容を精査するため、返答に時間を要することもある。職員の倫理は指導が徹底されている。

住宅政策はどうする

町長 積極的に民間開発を支援する

問 平成32年人口1万5千人達成という考え方に変わりはないか。

町長 住宅政策の役場周辺や正庵地区の開発規模を、どの程度に望んでいるか。また、市街化調整区域の一定規模の宅地や雑種地について、法的な対応をして住宅化を進める考えはないか。また、新卒者の転出防止策を考えているか。

町長 目標人口1万5千人は、住民基本台帳ベースではほぼ近い数字だ。住宅政策は、正庵地区第2期計画で、3ヘクタール弱の大きな計画が、民間主導で進んでいる。また、市街化調整区域の宅地などは、30アール以



▲期待される宅地開発

目標達成大丈夫か

町長 全力で達成する

問 第4次総合計画後期基本計画で、現行49%の学校給食の地産地消費を60%まで引き上げるなど、8項目に高い目標を設定しているが、具体策はどうなっているか。

町長 計画の基本方針や施策の方向に沿った形で事業展開により、目標の達成を図る。

上のまとまった土地で一定条件を満たせば、町も積極的に支援していく。大学生などが町内企業に就職して、さらに本町に転入してもらうよう、取り組んでいく。

安心か老人福祉行政

町長 実態に即した対応をする

問 ①町民に最も身近な特別養護老人施設「聖豊はすがた園」が、財政難で4月よりショートステイが30人から10人になり、さらに日曜日のデイサービス受け入れができなくなる。町として何らかの対応が必要ではないか。

②昨年11月より、月に1回ほど認知症カフェに参加している。今後はさらに発展した活動にすべきではないか。

③聖籠町の老人福祉行政の中で日本版CCRCを今後どのように進めるか。



▲楽しいおしゃべりで仲間づくり



小川 勝也議員

町長 ①不便をかけるが、他の事業所への利用変更で対応可能である。

②認知症の啓発活動として今後も展開していく。

③構想の枠組みは明確になっていない。町全体の介護、福祉、医療における事業計画、財政への影響についても検討する。

循環バス運行は改善したか

町長 今後も改善に努める

問 ①循環バス利用者懇談会で、どんな要望が出たか。バス運行時間などは変わったか。

②冬期間の中学校の通学バスの運行状況に問題点はないか。

③近隣地域「新発田市、新潟市」のバスとの連携はできないか。

町長 ①利用者懇談会では、運行時間等の要望はなかった。今後とも、路線や料金など、現状維持

公共施設の管理状況は適正か

町長 利用者の利便性向上に努める

問 ①今年急に大雪が降った。公道から施設までの除雪が、朝の開館時間に間に合わない施設があった。今後はどう対応する。

②各施設の補修基準・点検基準を明確にして、利用者へのベストの状況で、使っていただくべきではないか。

③結いハート聖籠3階の今後の活用方法をどう考えるか。

町長 ①各施設で不便をかけないように努める。

②必要に応じて点検を実施し、施設利用者の利便性向上に努める。

教育長 ③今後とも倉庫として使用する。

その他の質問

問 本年入港するクルーズ船の受け入れ態勢の状況は。そして、ふるさと納税のインターネットでの周知は進んでいるか。

町長 どちらも順調に進んでいる。



田中 智之議員

中・高校生への主権者教育は

町長 学校現場と地域で教育

問 今夏の参院選から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられる。全国で約240万人、本町でも約350人が対象になる。

選挙権の行使は、よりよい民主政治への基本であるが、近年、若者の投票率低下や選挙離れが全国的な問題となっている。全国では主権者教育を進める自治体や学校独自で進める高校も増えている。本町でも未来の政治参加意識を中・高校生に植え付ける教育が必要である。町、教育委員会としてどう取り組む。

町長 主権者教育という前提の中で学校現場が対応する分野と、家庭・地域の中での環境整備が大事。いろんな機会を通じ

主権者への段階を踏むことで、子どもたちの政治意識が醸成される。今年子ども議会を計画していきたい。

教育長 学習指導要領の趣旨や内容に基づき適正な指導を進めるように、小・中学校を指導する。12年カリキュラムの編成で、主権者教育に関する系統性や内容をどう積み上げるかを考えていく。



▲期待される国際交流

町長 時間をかけた協議が必要

問 国際交流検討委員会の答申で、英語圏との相互交流の実施先として4カ国が提案され、昨年8月に町長・教育長がシンガポールを視察した。

その後、町長からは「相互に交流プログラムを提示し、交流の可能性を検討する」と報告があり、あとは実施を待つだけの状態である。交流の具体的な計画と方向性は。

町長 昨年末に先方からサッカーを中心とする交流を、という提案があったが、本町はより多くの子どもたちを対象とした交流を目指している。また、シンガポール教育省との調整が必要ということもあり、本町が希望する交流に近づけるためには、現時点ではもう少し時間をかけた協議が必要。

問 5月22日、東港に大型クルーズ船が入港する。①本町にもたらす経済効果の数字はいくらか。②今後2カ月で最大限の経済効果を生むための計画や方策は。

町長 ①具体的な数字は算出していない。今回の寄港だけの経済効果等ではなく、将来的な大きな可能性を考え、町の信用性の確保が重要である。②歓迎セレモニーや町の主要施設へのシャトルバス運行、物品販売や観光ブースの設置を計画する。

クルーズ船の経済効果は

町長 経済効果よりも町の信用性の確保を

防災に関心が薄いのはなぜか

町長 訓練の精度を高めていく

問 大震災から5年経過してもなお、地震、津波に対する恐怖は拭い切れない。しかし、年1回行われるまちなか防災訓練は、参加するだけの一過性の訓練行事、と考えている町民も多いのではないか。なぜ自発的な行動とならないのか。

町長 災害時は、一義的には全体の把握をしながら初動対応を迅速に展開するのが責務、と基本的に理解している。職員も初動マニュアルに沿って、訓練を立案、実施しており、意識、認識を新たにしていることと思う。今後ともまちなか防災訓練を通じて、住民一人一人がその地域で助け合うことを自覚し、町は迅速か

状態では、他の自治体と同じようなものに過ぎないと思うが、どう考える。

町長 災害時は、一義的には全体の把握をしながら初動対応を迅速に展開するのが責務、と基本的に理解している。職員も初動マニュアルに沿って、訓練を立案、実施しており、意識、認識を新たにしていることと思う。今後ともまちなか防災訓練を通じて、住民一人一人がその地域で助け合うことを自覚し、町は迅速か

つ効果的な災害対応を実践できるよう訓練を重ね、町一体となって「災害に強い町」を目指す。

東山町営住宅の改修は

町長 居住環境の維持向上に努める

問 東山町営住宅は、子育て世代が多く居住し、町の現在、将来を担う子どもたちの「ふるさと」である。しかし、老朽化が目立ち、特に風呂場、トイレは早急な改善が必要と考えるがどうか。

町長 現入居者のうち、子育て世帯を高校生まで

の子どもがいる世帯と想定したときの割合は、7割以上となっている。21年余り経過した建物なので、長寿命化工事をしていく。

今後においても入居者の意見を十分考慮した中で、居住環境の維持向上に努める。



渡辺 豊議員

子どもたちの夏休み体験を海でも

町長 7月17日に開催を計画

問 今年から8月11日が「山の日」として祝日となる。当町の「海の日」の今年のイベントは。

町長 夏の海の各種イベントは、これまでの開催により、町内外において定着してきた。今年も多くの方々が集える交流の場となるように、引き続き前進する。



▲交通アクセスも便利だよ



中村 恵美子議員

第6期計画実施に影響はないか

町長 影響は少ないと考える

問 ①聖豊はすがた園では、ショートステイを30床から10床へ、それに伴いショートステイに入っていた人は、1カ月に2週間しか利用できないと聞く。後半の2週間は別の施設に行かざるを得ない。デイサービスも日曜日は利用できず、町民の施設利用者は非常に困っている。

町の第6期介護保険事業計画の実施に当たり、何か対策を行うべきではないか。

②国民健康保険については、引き上げを視野に入れて事業運営に努めていく、と施政方針で述べている。平成30年の国保広域化までは、保険税を引き上げしないのではな

ったのか。

③国民健康保険税を決めるのは、町である。加入者に身近な市町村が、加入者の生活実態を踏まえ、保険税の軽減をするべきでないか。

町長 ①聖豊はすがた園のショートステイの利用定員を、30人から10人に削減するというのである。理由は一昨年新たに特養施設が整備されて以降、利用者が減り稼働率の低下などで、法に基づいた職員の配置を確保したままでは採算が取れなくなったため。

第6期計画への影響は、少ない。

②国民健康保険税は、今年度の厳しい状況で、平成28年度の税率改定は、避けて通れない。

③国保税の軽減は、平成28年度は5割、2割軽減の判定基準の拡充により、低所得者への配慮がなされると考える。

医療費無料化の実現を

町長 助成は考えていない

問 ①子どもの医療費助成は、高校卒業までするべきでないか。

②給付型奨学金を、高校、専修学校、大学での実現はできないか。

③学校給食費の負担なしに、半額助成にできないか。

町長 ①当面、医療費助成を高校卒業まで拡大することは考えていない。

教育長 ②高校は、授業料が無料になる新潟県立高等学校等就学支援金制度があるので、考えていない。大学、専修学校は、町の育英資金制度がある。現在、給付型奨学金は考えていない。

③町では、給食費は保護者負担を原則としている。



▲みんなで食べるとおいしいよ

クルーズ船入港万全か

町長 町を挙げておもてなし

問 新潟東港に、クルーズ船「コスタ・ピクトリア号」(総トン数7万5166トン、定員2394人)が5月22日に初入港する。

新潟県、新潟市、関係機関と協力したクルーズ船誘致に向けた取り組みは万全か。

①町は町民と共にどのような歓迎の準備をしているか。町民も歓迎に参加できるのか。

②クルーズ船の受け入れに当たって、県・新潟市と町はどのような関わりを持つのか。

③乗客は、町との関わりをどのように持つのか。町に滞在する時間は。

④乗客が直行チャーターバスで新潟市の観光やショッピングに出かけるだけでは、町のPRや経済効果にならないのでないか。クルーズ船誘致に向けたPR活動を続けると言っているが、経済効果はどう捉えているか。

町長 ①町の特徴や観光施設の他、周辺の近隣自治体の魅力についても周知するとともに、乗船客や乗組員のニーズに沿った魅力あるツアーコース

の提案や町を挙げてのおもてなしをしたい。

今後継続入港の実現により観光や経済効果は大きいと考える。

岸壁での歓送迎セレモニーやクルーズ船の見学会を計画し、今後広報紙などで呼びかける。

②県・新潟市と共同で、クルーズ船寄港時に歓送迎セレモニーや岸壁でのイベントを実施する。

③船に残る乗船客や乗組員の方々にショッピングセンターや二宮邸、さぶくん館を案内したい。

町の滞在は午前8時入港、午後3時半出港で7時間半となる。

④岸壁で観光案内所を設け、町の観光物産品などのブースを設け、PRとおもてなしをする態勢を構築する。経済効果は大きいと考える。



小川 益一郎議員

集落案内標識の整備を

町長 十分注意を払う

問 道路が整備されたり、新しい集落が誕生し、町内外の人たちにとって、場所や位置が分かりにくい。

案内標識の管理と整備をしっかりとやるべきでないか。

未設置箇所や今後の取り組みはどうする。

町長 現在、案内看板の未設置は汐美台集落のみであり、今後も維持管理には十分注意を払いたい。



▲見やすい集落標識を

その他の質問

問 循環バスを東港エリアに巡回できないか。

町長 現状では、需要は見込めないものと理解している。現在、定着しているダイヤを再編するのは利用者の混乱を招く恐れもあり、再編は難しい。

第18回 追跡レポート その後どうなった 請願・陳情のゆくえ

平成20年から26年の間に議会で審議・採択された請願・陳情は、請願が45件、陳情は46件ありました。その中でも、特に町民から提出され、

私たちの生活に深く関わる4件の請願・陳情について、その後の状況を調査しましたので皆さんに報告します。

陳情 地区防災道路を整備してください
陳情名 藤寄集落下通り地区防災道路整備に関する陳情
提出者 藤寄副区長 遠藤 博
議会採択年月日 平成20年9月22日

陳情 生活道路の環境整備をしてください
陳情名 蓮濁居浦山地区道路環境整備の陳情書
提出者 蓮濁区長 森田春雄
議会採択年月日 平成24年12月13日

処理状況
平成27年度に道路改良工事および道路舗装工事を完了しました。



処理状況
平成27年度に蓮濁居浦山線全長530mのうち、八万刈側の用地買収・物件補償を完了しました。



今後の計画
平成28年度に住宅移転対象の聖籠中学校側の用地買収・物件補償を行う予定です。




今後の計画
平成28年度に住宅移転対象の聖籠中学校側の用地買収・物件補償を行う予定です。



請願 通学道路に歩道を整備してください
請願名 苔沼地区通学道路整備に関する請願書
提出者 苔沼区長 中村利雄 外3名
議会採択年月日 平成26年6月23日

請願 通学道路に歩道を整備してください
請願名 蓮野苔沼線の歩道付き道路拡幅整備に関する請願書
提出者 別條区長 本間和人 外2名
議会採択年月日 平成26年12月15日

処理状況
平成27年度に全長640mの路線測量を完了しました。



処理状況
平成27年度に全長720mの路線測量を完了しました。



今後の計画
平成28年度～33年度の間、2工区に分け調査から工事までを実施する予定です。



今後の計画
平成28年度～36年度の間、3工区に分け調査から工事までを実施する予定です。



リサイクルの促進を

町長 検討していきたい



青木 順議員

問 中学校は統合し、一つである。もちろん制服、ジャージ等は統一である。仲良し同士で行っている譲り合い、いわゆるリユースである。いろいろなから捨てる方も多し。町や中学校で集め、新たな利用者に提供することができないものか。入学の際、購入者が大半と思うが、全てそろえることかなりの高額になる。中学校の卒業式に出席したが、卒業生の制服は大事に利用されていると感じた。物を大事に使う勉強、先輩から後輩に物を受け継ぐ大切な流れになると感じた。

かなり抵抗もあるかもしれない。しかし、こういう制度があったら必ず助かる家庭もあると思う。他の地域では、浮いた経費を部活動に充てたり、学習塾に通わせたりしているようだ。



▲リユースは時代の流れ

町長 町として、実態があれば大いに奨励し、応援したい。
教育長 以前、中学校の生徒指導部が不要になった制服を寄附してもらい、学校で保管し着替え用に貸し出したという経緯がある。各学校に話をし、取り組めるかどうか働きかけはする。教育委員会が主導することは考えていない。

サイバー攻撃どう 立ち向かう

町長 今後さらなる強化を図る

問 報道で見たが聖籠町がサイバー攻撃にあったようである。大事には至っていないようだが、どのような内容か。また、今後の対応策は考えているか。

町長 あるホームページにアクセスしたため感染したと連絡を受けた。その後、直ちにインターネット用のパソコン18台を調べ確認したところ、ウイルスが検出された。すぐに削除し、大事には至らなかった。
国も地方自治体に対し補助事業を確立し、体制整備に取り掛かっている。今後も強化しながら対応を図る。

中学校のコンピューター活用状況を調査

総務文教

1月29日、生徒たちのコンピューター活用状況の視察・調査のため聖籠中学校を訪問した。

現在の高度情報化社会の生活においてコンピューターは欠かせない機器であり、それを適切に活用するには中学校での情報教育が必須となる。

中学校では1年次で年間17時間、2・3年次ではそれぞれ20時間を情報教育の時間に充て、継続的な学習をしている。

また、総数142台の



パソコンが校舎内のさまざまな場所に設置されており、生徒にとっては必要な情報や関心事を、迅速に収集できる環境が整っている。

国は平成28年度からの新成長戦略の一つに、小・中学校からのIT教育の強化を掲げている。

聖籠中学校という恵まれたIT環境で育った子どもたちが、今後IT人材として社会で活躍することを期待し支援していきたい。

(文責 田中智之)

遊休農地の早期改善を

厚生産業



2月9日、平成27年度、28年度の米の需給調整と遊休農地の現状、農地集積の政策について調査した。主食用米の作付面積、平成28年度見込みでは6万7356アールで、1697アールの減となった。

遊休農地については、平成23年度から補助事業が開始され、28年度1月時点で田7312平方メートル、畑2万8190平方メートル、樹園地2万1420平方メートル、合計5万6922平方メートルの減となった。

農地集積については、平成27年4月より農地集積バンクという制度が始まった。農地所有者と担い手の間に入り、分散した農地を担い手ごとにまとめて提供している。さらなる農地の生産コスト削減を望む。

(文責 青木 順)

話し合った レポート

受賞を励みに

広報広聴

2月、「第30回町村議会広報全国コンクール」の審査結果が発表され、聖籠町議会だより110号が優良賞(総合9位)を受賞した。2年ぶりの受賞である。

全国262の町村議会から応募があり、その中の受賞であった。

受賞した110号は、改選前の委員会のメンバーが編集したものであるが、優良賞は新メンバーにとって、いい励みになる



ることと思う。今後、審査委員の講評を参考にし、歴史ある議会だよりの編集技術を維持したい。

新メンバーになってから、できるところから紙面のリニューアルを行っているが、編集会議での議論から、今回、表紙のデザインを変えた。

一人でも多くの町民に読んでもらえる身近な「議会だより」を目指し、メンバー一人一人の編集技術を高めたいかなければとあらためて思う。

(文責 宮沢光子)

見て聞いて 委員会

議会改革を研究

議会運営

昨年8月に議会議員の改選があり、聖籠村発足以来60年の歴史で初の無投票となった。これをきっかけに、議会のあり方について研究を行っている。

町民に議会を知ってもらうために何をすべきか。議会を町民に、より開かれたものにし、議会活動を知ってもらうことが大切ではないかという大半の意見であった。

これを踏まえ、先進的な議会運営をしている阿賀町議会へ1月19日、研修に行ってきた。阿賀町議会は、精力的に地域住民の中に入って、町民と意見を交わしている。これを「地域と語る会」と称している。

これらの研修の成果を、最終的には本町議会の基本条例に織り込み、町民と共に歩む議会となるよう今後も研さんを積んでいきたい。

(文責 田村富美男)

